

おなじ時代、おなじ空の下に

世界報道写真展



ジブチで夜の海岸に立ち、携帯電話を掲げて隣国ソマリアからの安価な電波をとらえようとするアフリカ出身の出稼ぎ労働者たち。こうして外国に住む親類との連絡をかりうじて維持している。ソマリア、エチオピア、エリトリアなどから、よりよい生活を求めてヨーロッパや中東へ渡ろうとする出稼ぎ労働者たちにとって、ジブチは共通の中継地点となる。

世界報道写真展 写真家: ジョーン・スタンマイヤー (米国、VISA国際シオグラフィック) 2013年2月28日、ジブチ、ジブチ

2014 6.7 SAT ▶ 8.3 SUN

東京都写真美術館 地下1階展示室
東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

開館時間: 10:00~18:00(木、金は20:00まで、7月17日以降の木、金は21:00まで) 入館は閉館の30分前まで
休館日: 毎週月曜日(7月21日開館、翌22日休館)
観覧料: 一般 800(640)円/学生 600(480)円/中高生・65歳以上 400(320)円

小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料。第3水曜日は65歳以上無料 ※ ()は20名以上の団体および東京都写真美術館の会員割引料金
チケットはセブンイレブン(店内マルチコピー機)「セブンチケット」ボタン【セブンコード030-467】お読みください。お読みいただけません。東京都写真美術館は当日のみ販売。

主催: 世界報道写真財団、朝日新聞社 共催: 東京都写真美術館 後援: オランダ王国大使館、公益社団法人日本写真協会、公益社団法人日本写真家協会
協賛: キヤノンマーケティングジャパン株式会社 お問い合わせ: 東京都写真美術館 TEL.03-3280-0099 公式サイト: http://www.asahi.com/event/wpph/



世界報道写真展

おなじ時代、おなじ空の下に

オランダで毎年開かれる「世界報道写真コンテスト」。世界各地の10万点近い応募作品の中から選ばれた大賞など、入賞作品を紹介する「世界報道写真展2014」を開催いたします。アフリカの出稼ぎ労働者たちが、微弱な電波を頼りに携帯電話で外国の家族と連絡を取ろうとする姿。台風30号の生存者たちが折りの行進をするフィリピン。インドの先天性色素欠乏症の男の子たち。人間に最も近い動物と言われるボノボの写真など、同じ時代、同じ空の下で起きていることを伝える作品はどれも、私たちが目にする事の少ない驚くようなドラマを写しています。



西ベンガル州にある視覚障害者のためのヴィヴェカナンダ・ミッションスクールの寄宿舎で、写真撮影に応じるアルビノ(先天性色素欠乏症)の少年たちのグループ。ここはインドでは数少ない盲学校のひとつだ。

演出写真の部 写真家1位 フレイト・スタートン(南アフリカ、ケッチイ・イメーグによるホルムス・ジョ) 2013年9月25日、西ベンガル州、インド



コンゴ民主共和国のココロボリ・ボノボ保護地区の近くに生息する野生のボノボグループの中で、とくに好奇心の強い5歳のボノボ。人間にもっとも近い動物であるにもかかわらず、コンゴ盆地周辺部に暮らす野生のボノボの生態についてはほとんど知られていない。生態系の縮小と野生動物の肉の取引のために生存が脅かされている。

自然の部 写真家3位 クリスチャン・ツィーグラー(ドイツ、ナショナルジオグラフィック誌) 2011年1月25日、コンゴ



台風30号「ハイエン」に襲われたレイテ島東部のトロサで、宗教行事の行進に参加する生存者たち。観測史上最大級のサイクロンとなったハイエンは、フィリピン中央部を中心に8,000人の死者と行方不明者を出し、400万人以上が家を失った。

スポットニュースの部 写真家1位 フィリップ・ロベス (フランス、AFP通信) 2013年11月18日、トロサ、フィリピン



ロサンゼルス市のグリフィス公園内を歩くクーガーの姿を、仕掛けカメラがとらえた。ワイオミング州のテトン国立森林保護区の科学者たちは、首につけたGPSと仕掛けカメラによって、クーガーの基本的な行動をもっとよく知り、秘密のペールを暴こうとしている。

自然の部 写真家1位 スティーブ・ウィンター (米国、ナショナルジオグラフィック誌) 2013年3月2日、ロサンゼルス、米国



アデレードのSAアクアティック・アンド・レジャーセンターで開催されたオーストラリア水泳選手権の第2日、男子100メートル背泳ぎに出場したダニエル・アーナムナート。

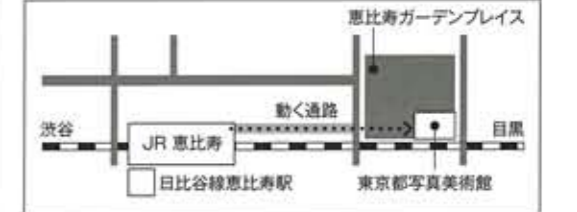
スポーツアクションの部 写真家3位 クイーン・ルネー (オーストラリア、ケッチイ・イメーグ) 2013年4月27日、アデレード、オーストラリア

EVENT 第7回 写美
フォトドキュメンタリー・ワークショップ
(主催=東京都写真美術館/朝日新聞社)

講師: Q. サカマキ(写真家、WPP07受賞者、NY在住)、外山俊樹(「アエラ」フォトディレクター)

7月19日(土)~21日(月・祝)3日間連続 事前申込制 参加費: ¥20,000 定員: 20名
詳細は東京都写真美術館ホームページ www.syabi.com をご確認ください。

東京都写真美術館は、21世紀のフォトドキュメンタリー、フォトジャーナリズムについて実践的な方法を考えるワークショップを開催いたします。フォトドキュメンタリーの最前線で活躍する講師を迎え、レクチャー、ポートフォリオレビュー、クイック・ヒット・エッセイ制作を3日間で行う集中セミナーです。国内では数少ないフォトジャーナリズム、フォトドキュメンタリーの現場を学べるプログラムです。



2015年は池袋で
来年2015年の世界報道写真展の会場は
東京芸術劇場(池袋)です。